



トランプを使ったマジックを披露する学生(右端)

徳山高専教授が開催

英会話教室が200回目

英語が苦手な学生や市民に気軽に英会話を楽しんでもらおうと、周南市の徳山高専(平野千博校長)の国重徹教授(47)が毎週金曜日に無料で開いている「いんぐりっしゅ☆るゝむ」が19日、200回目の節目を迎えた。

同市銀座にある高専の情報発信拠点「高専夢広場」で、テスト期間や盆休みなどを除く金曜日の夕方に開かれており、市民にも参加を呼び掛けている。

この日は高専の学生のほか、中学生や主婦ら約70人が参加。スナック菓子や節目を祝うケーキを食べながら、英語の会話を楽しんだ。国重教授や学生らによる英語劇やマジックも披露され、会場を沸かせた。

国重教授は「市民や学生の英会話のきっかけ作りとして、今後も続けていきたい」と話している。